

〈筆者略歴〉

野島 大輔（のじま だいすけ）

1963年 兵庫県生まれ

1986年 教養学士：国際法（国際基督教大学）

1988年 行政学修士：国際人道法（国際基督教大学大学院行政学研究科）

1989年 国際基督教大学 社会科学研究所非常勤助手

1989～1991年 都内私立高校の非常勤講師，都立定時制高校の専任教員

1991～2021年 大阪府内の私立国際学校（中学・高校）社会科専任教員

この間，Transcend Peace University「深層文化」「紛争解決・上級」科目

修了，European Peace University 夏学期課程修了，American University

The Center of Global Peace 客員研究員，私立大学の非常勤講師など

2016年 国際関係学博士：平和教育（立命館大学大学院国際関係研究科）

2022年 立命館大学 国際地域研究所客員協力研究員

〈筆者による，本書と関係する論文〉

『『グローバル・ガバナンス』をどう教えるか—高等学校での国際法・国際関係の学習に関する一提言』（帝塚山学院大学国際理解研究所第27回国際理解論文コンクール奨励賞）2001年1月

『世界秩序を構想する学習による平和教育の再構築—中等教育におけるカリキュラム開発と実践』（立命館大学国際関係研究科提出博士論文）2016年9月

『国際関係論と平和教育』『平和教育学事典』平和教育学研究会・編（京都教育大学教育社会学研究室・発行）2017年3月

『『軍縮・不拡散教育』の現状と課題—カリキュラム開発の実践事例を添えて』『軍縮研究』日本軍縮学会編 第8号 2018年9月

『ウクライナでの武力紛争のトランセンド法による分析の試み』『トランセンド研究』第18巻1号 2022年9月